



第2回「企画運営委員の報告と懇談のつどいを開催しました！」



平成25年3月2日(土) 午前10時～12時、住吉会館2階研修室にて、企画運営委員会主催「第2回 企画運営委員の報告と懇談のつどい」を開催し、懇談会では、パリテの企画運営に関する意見交換が行われました。



－進行内容－

- (1)はじめに 協働コミュニティ課長
- (2)企画運営委員会委員長挨拶
- (3)本日の進め方について
- (4)懇談会の趣旨及び平成24年度の事業全体について
- (5)各企画運営委員による平成24年度実施事業の報告
- (6)懇談会
- (7)まとめ

主なご意見～懇談会より～

- ◆ 広報の仕方に関して。初めてまつり実行委員会にも参加した。①とにかく参加者が増えるようにしたい。②『パリテ』と『パリテだより』一立派な方が目を引くが、『パリテだより』は年2回だけ？ ひんぱんに講座の細かい情報が入れれば早目に予定が決められる。
- ◆ 委員の顔ぶれ～男性の参加や幅広い年齢層～に期待。「女性に対する暴力をなくす運動週間事業」で、田無庁舎でのバラのメッセージのタペストリーはどうなったのか？もっとその後のPRの必要がある。パリテの交流スペースの壁面に飾るなどしてはどうか、行政のお知らせばかりで冷たい感じがする。
- ◆ パリテの講座などの情報は登録団体のメーリングリストを活用したら良いのでは。
- ◆ 「パリテだより」からは企画運営委員会が何をやっているかの動きが見えてこない。パリテだよりの発行は時間をあまりおかないで。情報誌パリテの編集や、月一回の会議など一生懸命されているのは理解しているが、委員8名だけで背負わず、いろんな部会を作るなど、サポーターとしてもっと、市民の力を使ってはどうか。一緒にやりませんかと声かけをすることによって違ってくる。
- ◆ 今回初めて参加。まつりは1回覗いたことがある。講座の多彩な企画に驚き。月1回の会議でこれだけのことしていることに敬意を表する。
- ◆ 平成24年度同様、効果のある事業を期待する。職員や意識レベルの高い市民はとかく自分のレベルで物を言いがち。いろんな市民がいる。アサーティブの講座など、やわらかいけど効果のあるものを続けてほしい。ジェンダーの視点は“気づき”が大事。意識啓発のゆるやかなもので、まず、来てもらうことが大事。「男女平等推進委員会」という審議会があり、現在、3次計画策定中である。審議の中で、未だ手つかずのものが「企業との協働」である。企業と行政の橋渡しが無い。情報誌『パリテ』などで、市内企業の女性管理職を紹介するページとか、企業で働いている女性の姿の紹介などで、パリテに好意を持ってもらったり、まつりに参加してもらう等の“きっかけづくり”。
- ◆ メーリングリストばかりではなく、もっと多くの一般市民に知ってもらいたい。原始的だけど、チラシが大事。
- ◆ 以前、大田区の女性センターで「行列のできる講座の作り方」という講座があったが、ニーズに応えるチラシの作り方は工夫する必要がある。
- ◆ 西東京市は、子育て支援も進んでいるし、パリテも良い講座をしている。“はなバス”が運行されて、ここに集まるというシステム(足)を。交通の便が悪く、高齢者には歩きは辛い。もっと要望を出していきたいと思う。
- ◆ 退職してから参加している。パリテの事業の中に「男性向け」に特化したものがあったとしても良いのでは…。男性は市民活動も少ないので。
- ◆ 「男性の参加」の必要は感じている。介護問題も男女平等の問題だし…。市報の中に必ず「パリテ」のスペースがあると